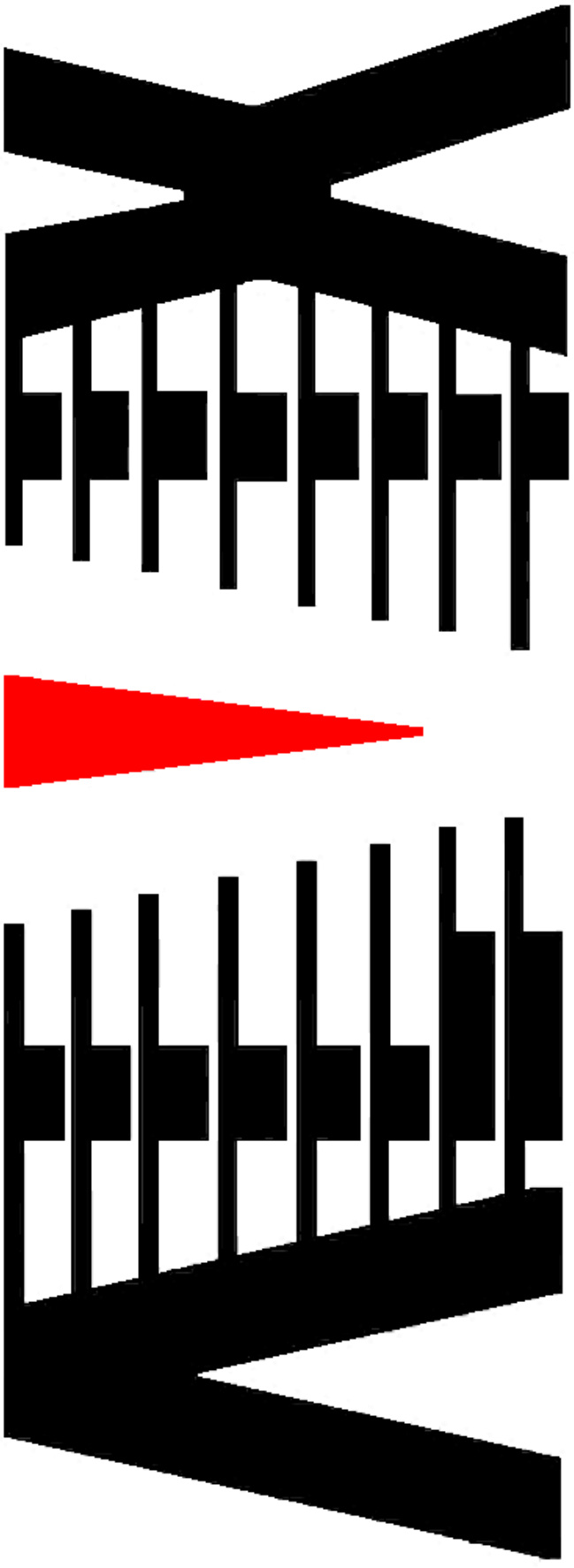
音声エラー検出装置・『音声』チェッカー
AED－８００
VA ERROR DETECTION UNIT

取扱説明書

Rev. 0.00



御使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、安全の為の指示に従って下さい。
もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

目　次

注意事項	・・・・・	２
１．主な特長	・・・・・	３
２．仕様	・・・・・	３
３．各部の名称と機能	・・・・・	５
４．接続方法	・・・・・	７
５．ＩＰアドレスの設定	・・・・・	８

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

警告

◇　内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としてはいけません。
（火災や感電、故障の原因となります。）

◇　煙が出たり、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

◇　電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇　電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。
（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）

◇　電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇　仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。
（火災や感電の原因となります。）

お願い

◇　風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。
（故障の原因となります。）

◇　次の様な所には置かないで下さい。
湿気の多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く
埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所
安定しない台の上、傾いた所
（故障の原因となります。）

１．主な特長

１．１　ＡＥＤ－８００の特長

◇２系統の音声信号を比較し、音声のエラーを検出、エラー内容を
100BASE-TX/10BASE-T 対応 LAN インタフェース（RJ-45）
にて外部へ通知します。

２．仕様

◆入力信号（デジタル）

信号形式	：ＡＥＳ／ＥＢＵ（平衡）
サンプリング周波数	：３２～１９２ＫＨｚ
入力信号数	：２Ｃｈ×４系統×２組（ＭＡＩＮ／ＳＵＢ）
入力接栓	：ＸＬＲコネクタ（ピン）

◆入力信号（アナログ）

信号形式	：不平衡アナログ音声信号
入力信号数	：８系統×２組（ＭＡＩＮ／ＳＵＢ）
入力接栓	：ＲＣＡコネクタ

※デジタル／アナログは択一入力です。

◆モニタアウト　：不平衡アナログ音声信号１組（ＲＣＡコネクタ）

◆外部通知

通信仕様	：100BASE-TX/10BASE-T 対応 LAN インタフェース
プロトコル	：ＳＮＭＰ
コネクタ	：ＲＪ－４５モジュラ

◆エラー検知項目

・比較エラー

ＭＡＩＮ音声とＳＵＢ音声を比較し、その音声信号に差がある場合にエラーを通知します。

ＭＡＩＮ／ＳＵＢ間の位相差は自動調相します。（調相範囲±０．５秒）

・レベルエラー

オーディオ信号のピーク値を測定し、その値が設定値を越える場合にエラーを検出します。

エラー検出のしきい値はＵＰＰＥＲとＬＯＷＥＲについて設定可能で
設定範囲は UPPER：0～-20dB　LOWER：-30～-50dB です。

・無音エラー

オーディオ信号のピーク値を測定し、-50dB 以下の状態が１秒以上連続した場合にエラーを検出します。

・逆相エラー

オーディオ信号の逆相状態が、１秒以上連続した場合にエラーを検出します。

・１ＫＨｚ検知

オーディオ信号が１ＫＨｚであることを検知します。

◆外形寸法　：Ｗ４３０　×　Ｈ４４　×　Ｄ４００　mm

◆重量　：約　７　ｋｇ

◆電源電圧　：１００Ｖ±１０％　ＡＣ　５０／６０Ｈｚ

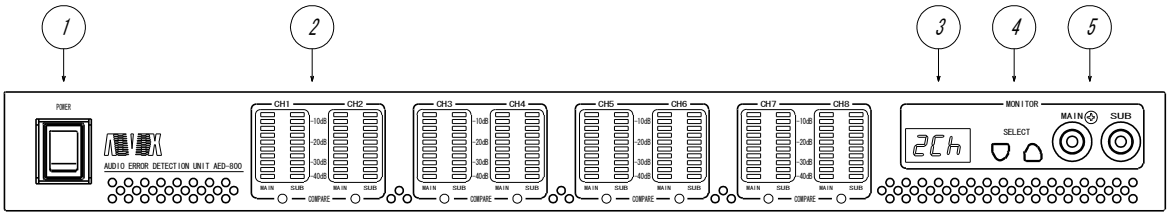
◆消費電力　：約　　２０　Ｗ

◆使用温度　：５℃　～　４０℃

※仕様及び外観は予告なく変更することがあります。

3．各部の名称と機能

＜フロントパネルの機能＞



1．POWER
電源スイッチです。

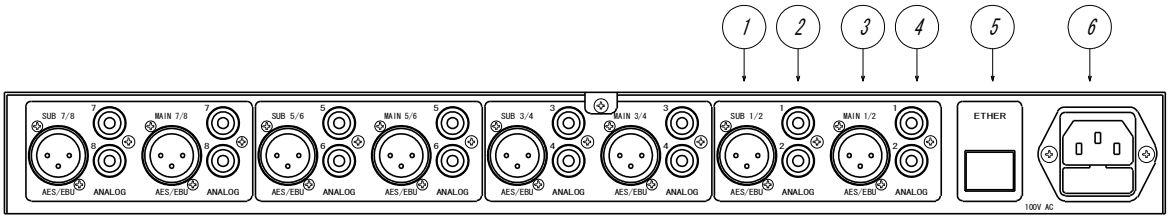
2．オーディオレベルメーター及び比較エラー表示ＬＥＤ
各 Ch の音声ピークレベルがレベルメータで表示されます。
（比較対照の main/sub が隣り合っています。）
比較エラーを検出すると、COMPARE 表示 LED が点灯します。

3．モニタ出力 Ch 表示
モニタ出力コネクタから出力している Ch 番号を表示します。
「2Ch」と表示されている場合は、Ch2 に入力されている main/sub それぞれの音声信号を遅延補正なしでモニタ出力しています。
「2.C.h.」と表示の間にドットが表示されている場合は、main/sub それぞれの音声信号を遅延補正してモニタ出力しています。（この場合、調相中にノイズが発生する場合があります）

4．モニタ出力選択スイッチ
上下スイッチで、モニタするチャンネルを選択します。

5．モニタコネクタ
モニタ信号出力コネクタです。
ヘッドフォンやスピーカーを直接駆動する能力はありませんので、
外付けでアンプをご用意ください。

＜リアパネルの機能＞



1,3．AES/EBU 入力コネクタ
各 Ch に AES/EBU 信号を入力します。

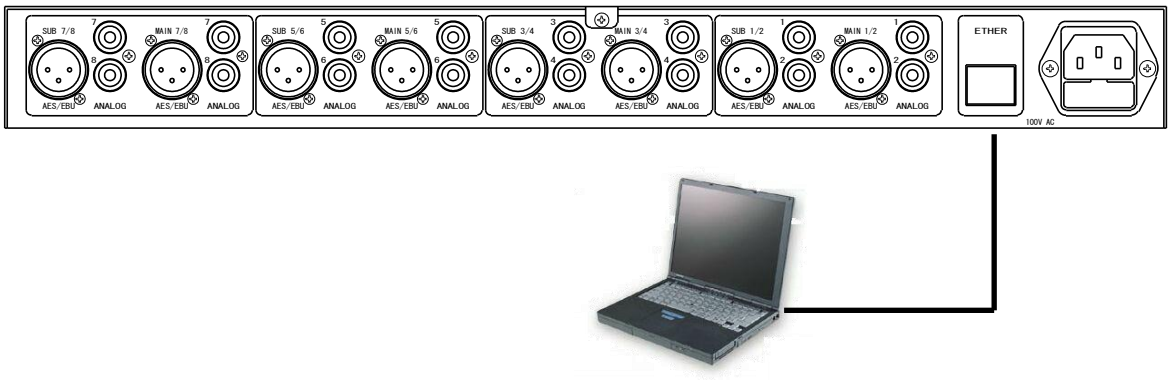
2,4．アナログ音声入力コネクタ
各 Ch にアナログ音声信号を入力します。
アナログ音声レベル基準は、-20dB=580mVp-p@1KHz サイン波です。

AES/EBU とアナログ音声の選択は、添付ソフトウェアを使用し設定します。

5．ＥＴＨＥＲ
ＬＡＮインターフェースコネクタです。

6．AC INPUT
・AC 入力(3P インレット)です。

4．接続方法



①各チャンネルの入力コネクタに、AES/EBU またはアナログ音声信号を入力します。
（上手では省略されています）
②このとき、各グループの音声は同一のフォーマットである必要があります。
（背面コネクタを枠で囲っている単位がグループです）
③コントロールソフトウェアをインストールしたPCと本機のＥＴＨＥＲコネクタを接続します。
④必要に応じて、前面のモニタコネクタより出力される音声をモニタしてください。

※音声比較を行うためには、ＭＡＩＮとＳＵＢの位相差は±０．５秒の範囲にあることが必要です。

5．ＩＰアドレスの設定

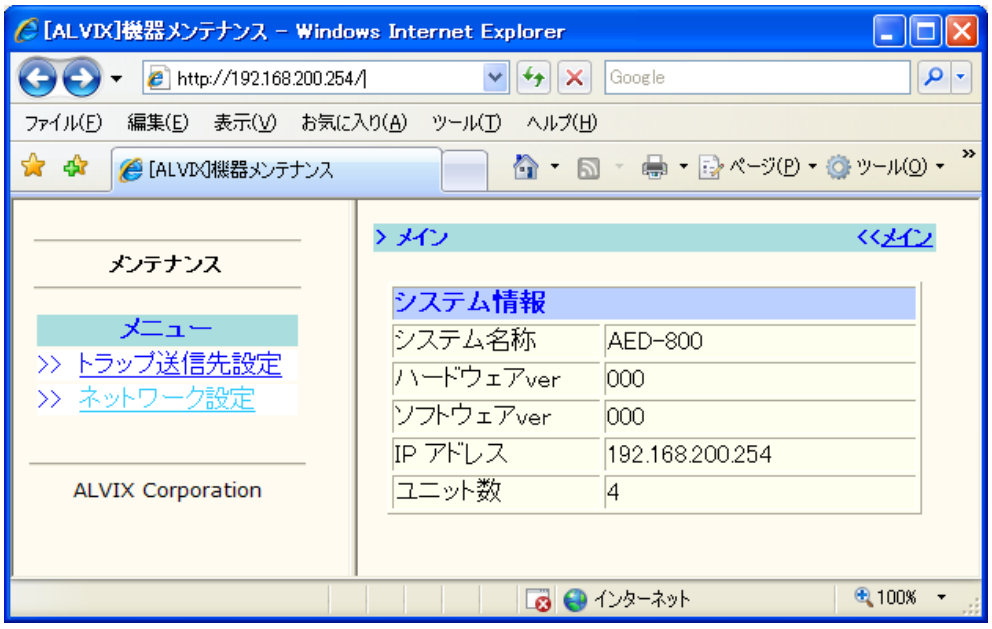
5．1．ＩＰアドレスの設定

本機のＩＰアドレスは、PC よりブラウザソフトを使用し変更します。

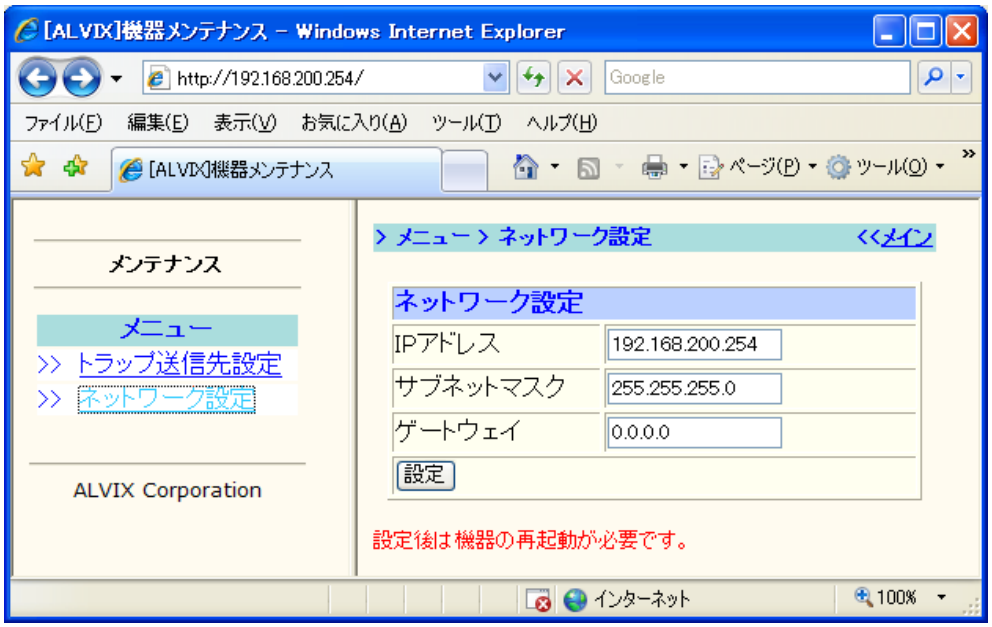
1）本機の電源を投入すると、前面のモニタＣｈ表示部にＩＰアドレスが表示されます。
表示は、第一オクテッドから順に第四オクテッドまで順に表現されます。
電源投入直後に第一オクテッド→第四オクテッドを３回繰り返しますので、
確認してください。

2）本機のＥＴＨＥＲコネクタと Windows PC を LAN 経由で接続し、
本機の電源を投入します。（クロスケーブル直結または HUB 経由）
※PC の OS が WindowsXP(SP2)／WindowsVista の場合は、
ソフトの起動前に Windows ファイヤーウォールを無効に設定して下さい。
ＰＣのＩＰアドレスの第一～第三オクテッドまでを、本機のアドレスと同一に
設定してください。

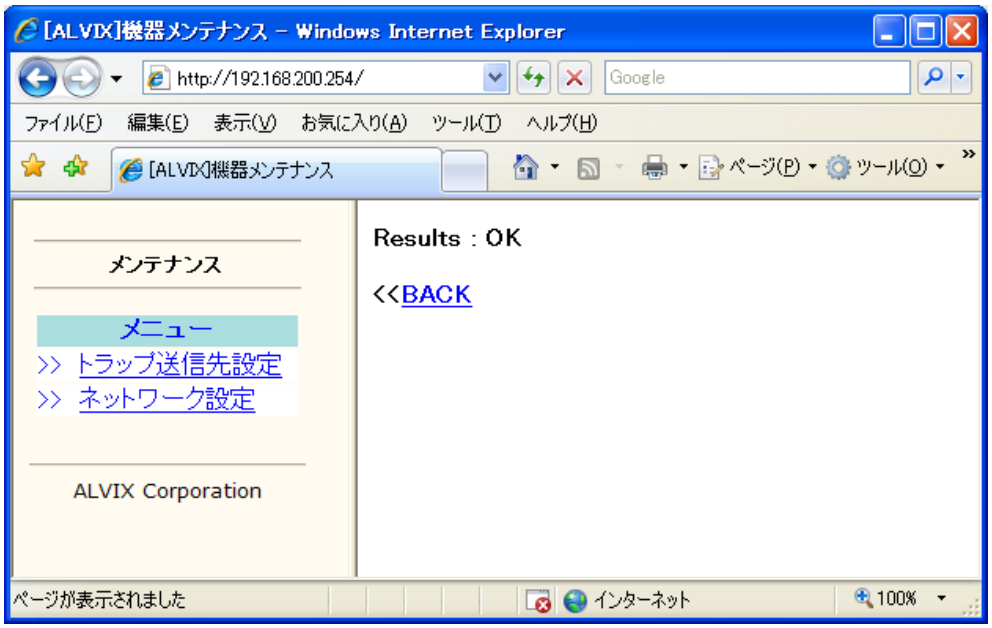
3）Windows PC 上でブラウザソフトを起動します。
ブラウザソフトのアドレスバーに本機のＩＰアドレスを入力します。
例：192.168.200.254 の場合「http://192.168.200.254/」
ブラウザソフトの表示を更新すると、[ALVIX]機器メンテナンス画面が表示されます。



ネットワーク設定をクリックするとネットワーク設定画面が表示されます。
この画面中のＩＰアドレスを、希望する値に変更し、設定ボタンをクリックしてください。



終了すると、次のような画面になります。

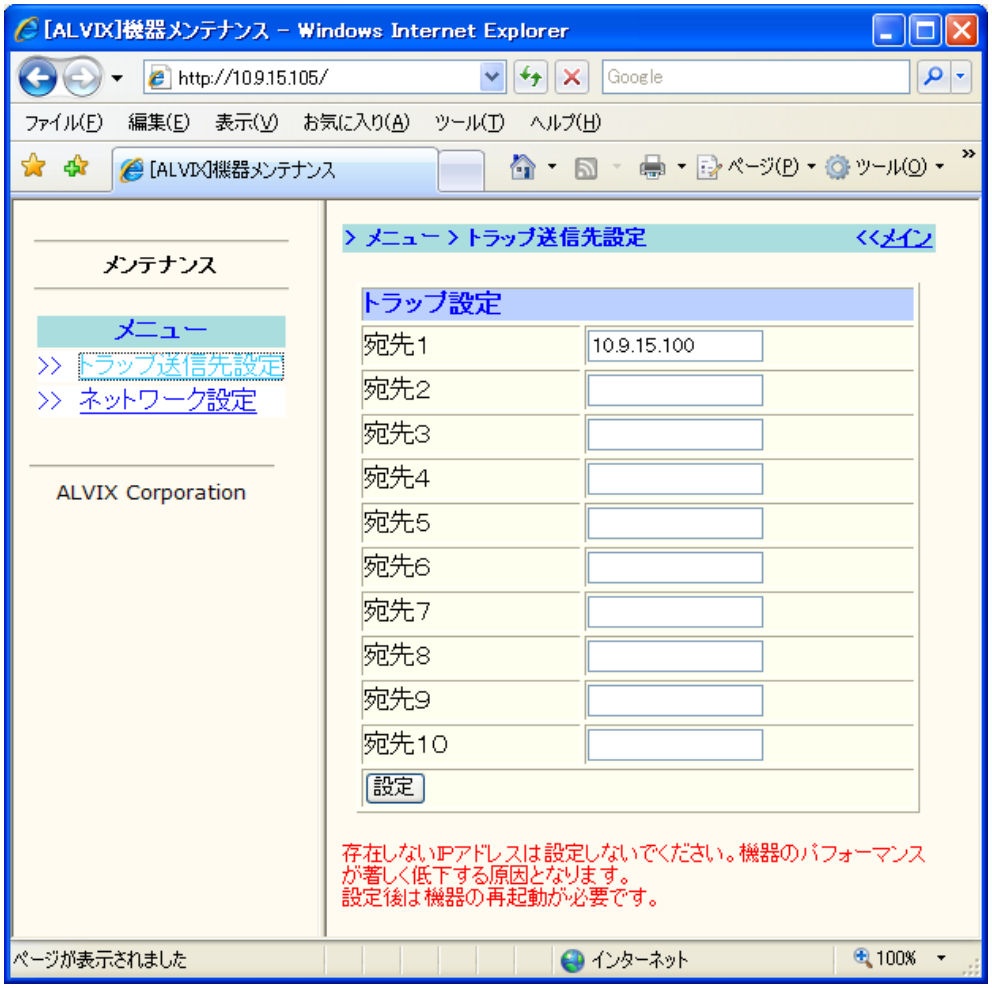


これで、設定は終了です。本体の電源を再投入してＩＰアドレスが変更されていることを確認してください。

５．２．Ｔｒａｐ先ＩＰアドレスの設定

１）前項と同様の手順で、[ALVIX]機器メンテナンス画面を表示します。

２）トラップ送信先設定をクリックすると、トラップ送信先設定画面が表示されます。



３）宛先１にトラップ送信先アドレスを入力してください。

４）複数に送信する必要があり場合は、宛先２以降にも入力します。

※ネットワーク上に存在しないＩＰアドレスは設定しないでください。

５）設定ボタンをクリックすると、ＩＰアドレス設定と同様に Results:OK が表示されます。

６）本体の電源を再投入して、設定は完了です。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

ＴＥＬ
担　当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒９５９－０２１４
新潟県燕市吉田法花堂１９７４－１
ＴＥＬ：０２５６－９３－５０３５
ＦＡＸ：０２５６－９３－５０３８